



SUBARU BRZ



Pure Handling Delight

世界のスポーツカーが、嫉妬する。

それは、BOXERの持つポテンシャルが生み出した、新たな可能性。

他のパワーユニットでは得られない

BOXERの優れた資質と、SUBARUが磨き上げた、

4輪を自在にコントロールする独自のノウハウ。

そのすべてを凝縮することで生まれた、究極の低重心。

世界のどこにもない独創のアーキテクチャーが生む、

世界の誰も味わったことのないハンドリング。

SUBARU BOXERだからこそ到達し得た未体験のドライビングに、

きっと世界のスポーツカーが、嫉妬する。

BRZ=Boxer[水平対向エンジン]・Rear-Wheel drive[リヤドライブ]・Zenith[究極]

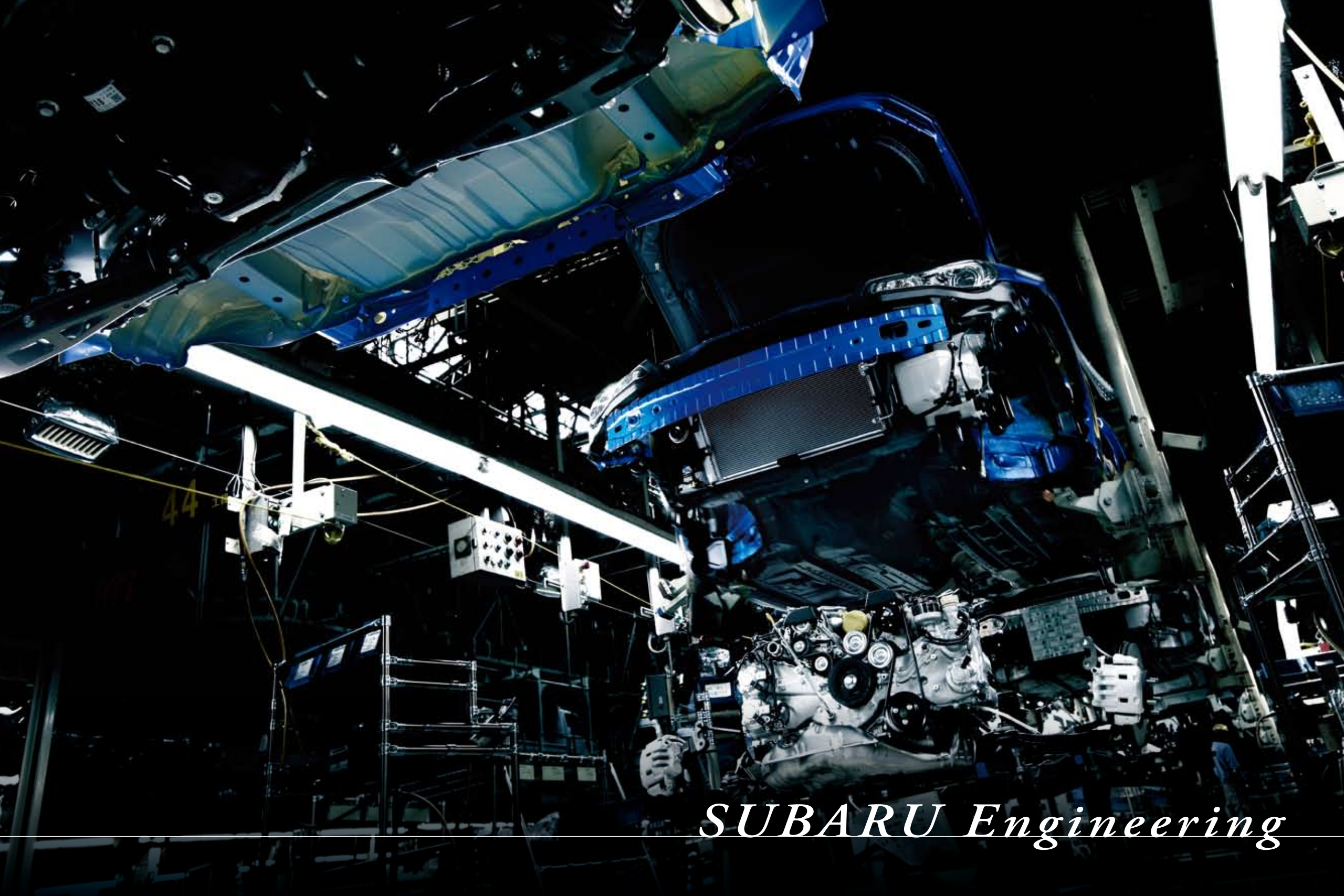












SUBARU Engineering

50年近くの長きに亘り、SUBARUは水平対向エンジン＝BOXERを磨き上げてきた。低重心、低振動、軽量・コンパクト、さらに抜群のアクティブセーフティと世界トップクラスの衝突安全性能の実現…。さまざまなアドバンテージを生まれながらに備えるBOXERを搭載することで、SUBARUは数々の革新を生み出してきた。SUBARUのクルマづくりの根幹には、つねにBOXERがあったと言っても過言ではない。



next page ▶

BOXERのポテンシャルを、よりピュアに味わっていただくためのプロジェクトが、このSUBARU BRZである。低重心を徹底的に追求し、世界のスーパースポーツカーに比肩する重心高と優れた前後重量配分を実現すること。そして基本性能を極限まで高めることで、操縦安定性と乗り心地を両立し、かつて誰も体験したことがないようなハンドリングの愉しさを提供することを目指した。



next page ▶

この「超低重心パッケージング」を実現するために、車体すべての大幅な見直しが必要となった。まず最も重要なポイントであるエンジン搭載位置とドライビングポジションの目標を定め、すべての要素をそれに合わせて構築していく。ボディ構造の見直しや、エンジン補機類やサスペンション形状の変更、軽量で高剛性な素材の積極的な活用など、ミリ単位、グラム単位での厳密な設計が求められた。



next page ▶

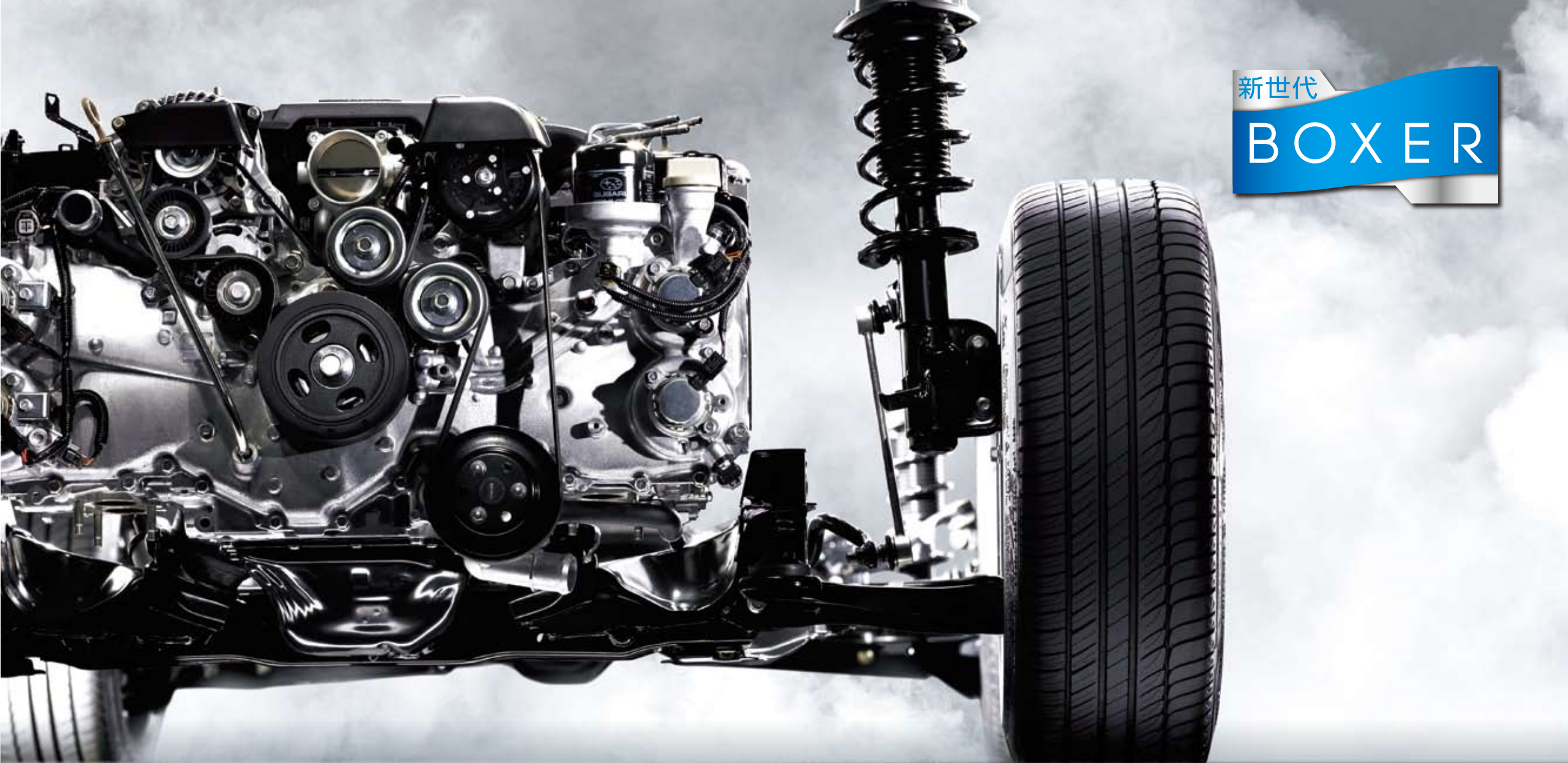
コストを度外視したスーパースポーツカーならば、理想の車体構造を作ることはさほど難しいことではない。しかしSUBARU BRZ が目指したのは、ハイレベルな走りを「誰もが手軽に」愉しめるスポーツカーである。航空機の技術思想を受け継ぎ、合理性と機能性を徹底して追求するSUBARUのエンジニアスピリットを注ぎ込むことで、この困難なチャレンジはついに実現した。



next page ▶



"Pure Handling Delight". BOXERが叶える運転の本質的な歓びを、より純粹に、より多くの人に味わっていただくために。SUBARU BRZには、その隅々にまでSUBARUエンジニアの想いが宿っている。

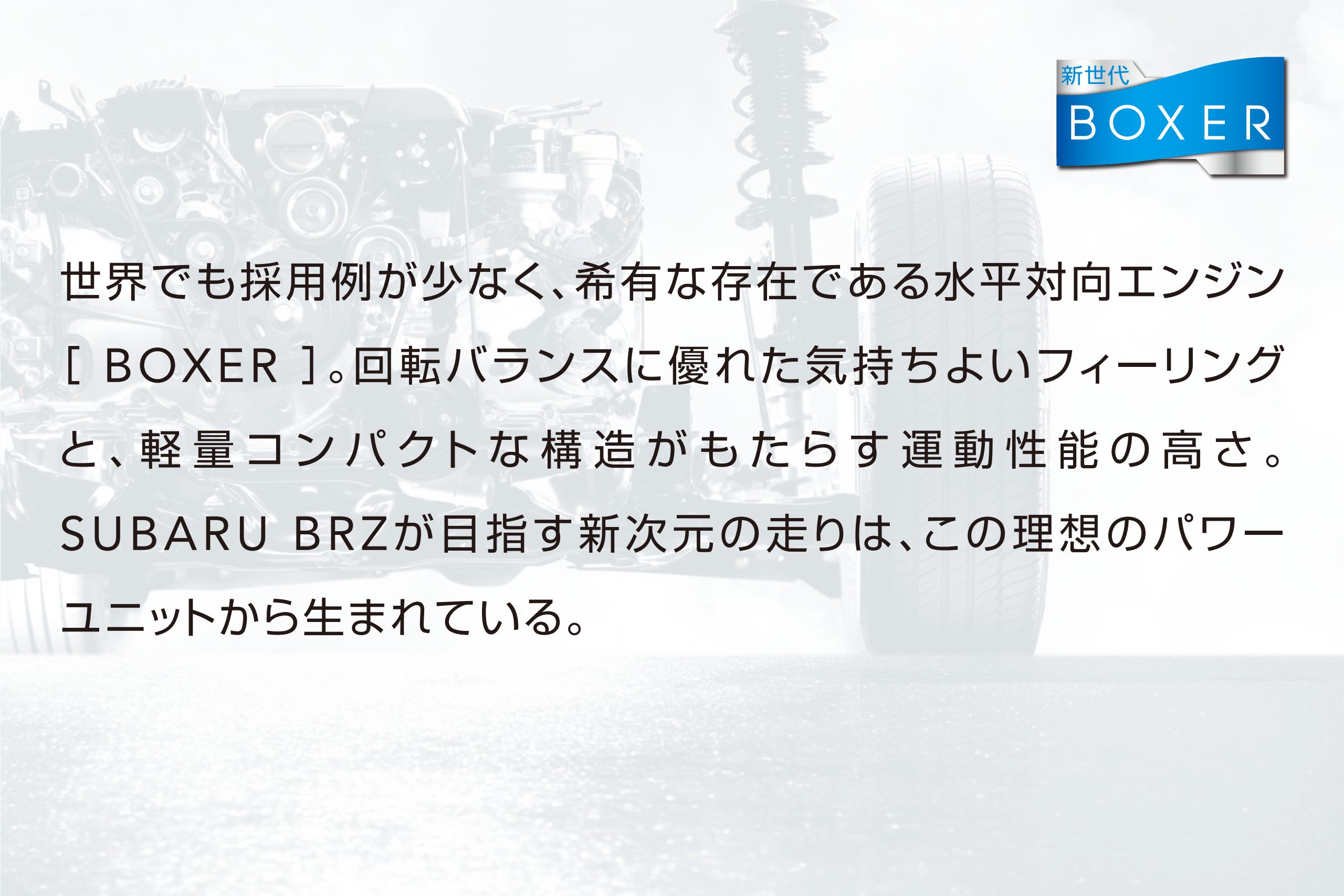


新世代

BOXER

Proud of BOXER

BOXER。それは誇り。



新世代

BOXER

世界でも採用例が少なく、希有な存在である水平対向エンジン
[BOXER]。回転バランスに優れた気持ちよいフィーリング
と、軽量コンパクトな構造がもたらす運動性能の高さ。
SUBARU BRZが目指す新次元の走りは、この理想のパワー
ユニットから生まれている。

革新を遂げた新世代水平対向エンジン「FA20」

走りと環境性能の両立を目指し、全面刷新された新世代SUBARU BOXER。SUBARU BRZでは、ボア×ストロークをスクエアな86.0mm×86.0mmとするとともに、筒内直接噴射とポート噴射を運転状況に応じて使い分ける先進の燃料噴射システム「D-4S」を搭載。7000回転を超える高回転域まで気持ちよく加速が伸びるスポーティな特性と、新世代のスポーツカーとしての優れた燃費性能を実現している。

next page ▶

革新を遂げた新世代水平対向エンジン「FA20」

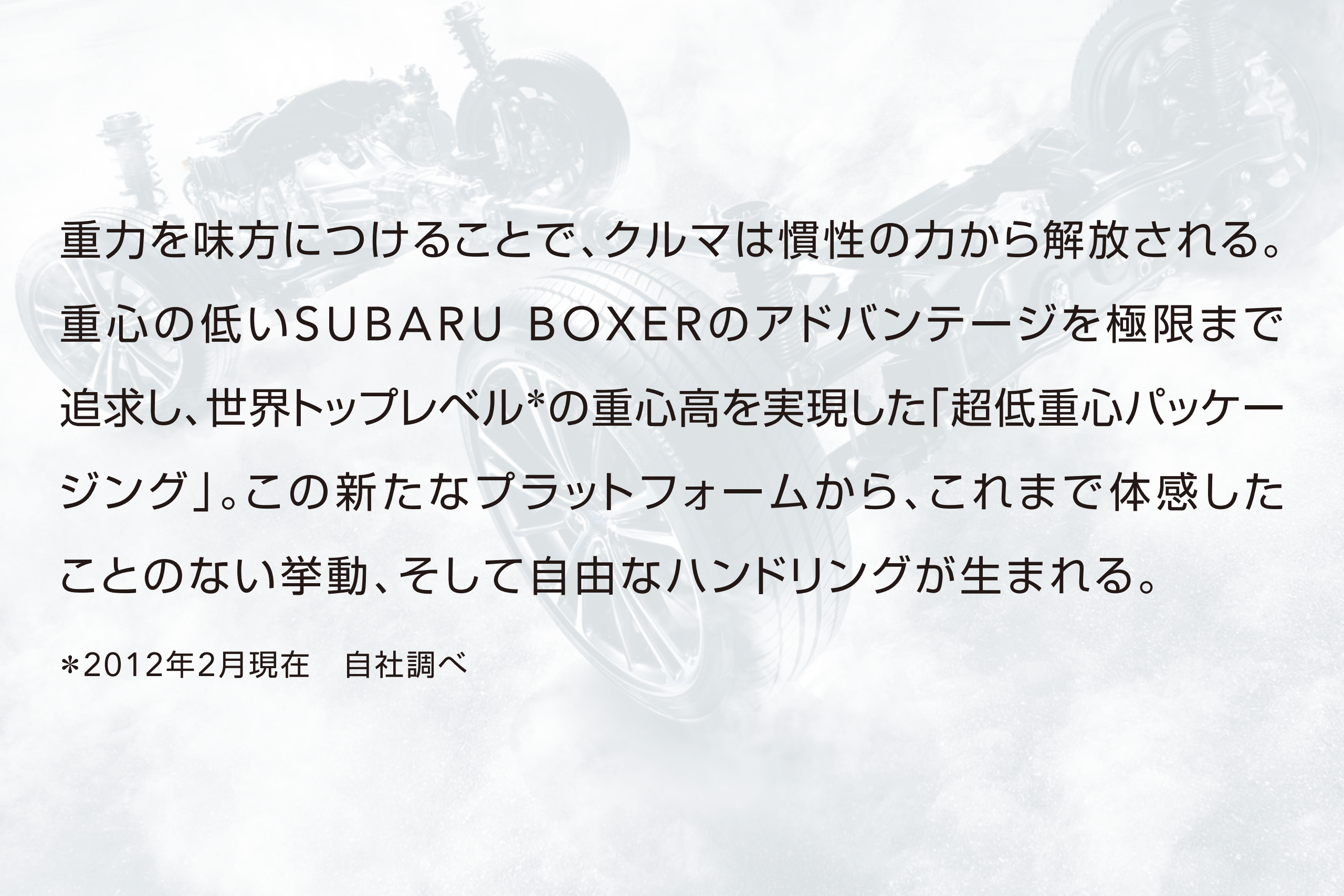
FA20は、エンジンをより低く搭載するため補機類の形状変更を行い、低重心の特長を最大限に活かすレイアウトを実現。さらにコクピットに伝わる「音」にもこだわり、アクセルワークに連動した気持ちのいい吸気サウンドを室内に伝える「サウンドクリエータ[®]＊」を採用。SUBARU BOXERを操る歓びを余すところなく提供する。

＊サウンドクリエータは株式会社マーレ フィルターシステムズの登録商標です。



Contact Drive

人とクルマと路面とが一体になった、新次元の走り。



重力を味方につけることで、クルマは慣性の力から解放される。
重心の低いSUBARU BOXERのアドバンテージを極限まで
追求し、世界トップレベル*の重心高を実現した「超低重心パッケージ」。
この新たなプラットフォームから、これまで体感したことのない挙動、そして自由なハンドリングが生まれる。

*2012年2月現在 自社調べ

未体験の走りを提供する超低重心パッケージング

クルマはその重心が低いほどロールが小さく、コーナリング時の荷重移動が少なくなる。それによって4つのタイヤが常に路面を捉えるとともにサスペンション性能にも余裕が生まれ、操縦安定性と乗り心地を両立できる。SUBARU BRZでは、BOXERの持つ「低重心」「軽量」「コンパクト」という特長をさらに活かすため、より低く、より車両中心に近い位置にエンジンを搭載した専用設計のプラットフォームを開発。クルマの基本性能を極限まで高める「超低重心パッケージング」を生み出した。

next page ▶

未体験の走りを提供する超低重心パッケージング

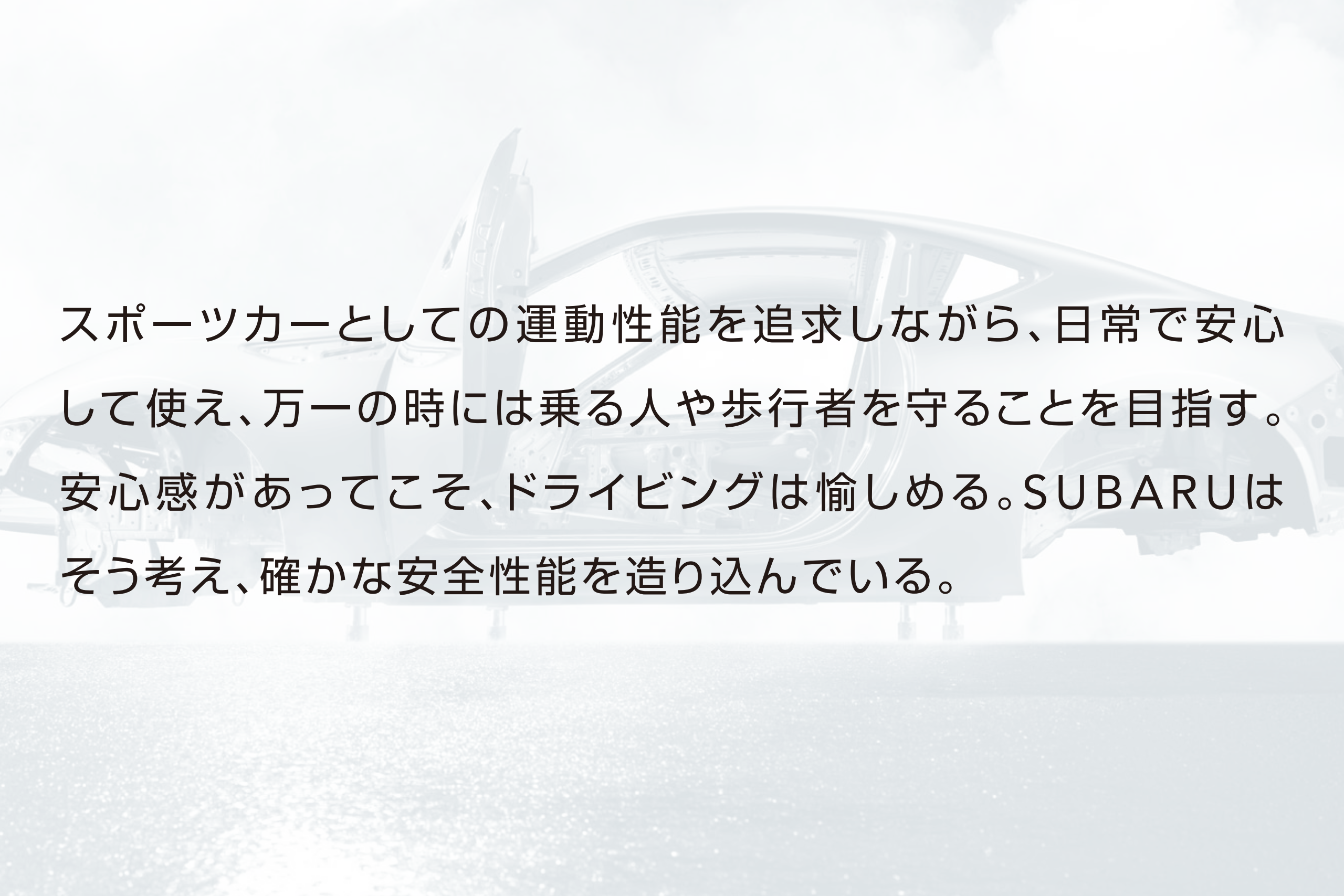
超低重心パッケージングを実現するため、エンジンの吸排気レイアウトやサスペンションの形状を見直すとともに、低いドライビングポジションを可能にするために新たなボディ構造の考え方を採用。さらに、重心から遠い位置にあるフロントフードやルーフ部、ウィンドウガラス等の軽量化を図ることで、スーパースポーツカーにも匹敵す重心高460mm*と、優れた前後重量配分(53:47)*を実現した。

*自社計測値



Safety

走りと安全性能を、一体で考える。



スポーツカーとしての運動性能を追求しながら、日常で安心して使え、万一の時には乗る人や歩行者を守ることを目指す。安心感があってこそ、ドライビングは愉しめる。SUBARUはそう考え、確かな安全性能を造り込んでいる。

軽量化・高剛性・衝突安全性能を高度に融合する 「3ゾーンマネジメント」

スポーツカーとしての軽量・高剛性なボディと、乗員を守るための衝突安全性能を両立するため、SUBARU BRZは「3ゾーンマネジメント」というコンセプトで“軽く、強い”次世代のボディ構造を開発した。キャビン周りは、その骨格を「かご」のように取り囲む環状構造を採用するとともに、高張力鋼板を多用。キャビンを守るための強度を確保しながら、ボディ上部の軽量化を実現している。

next page ▶

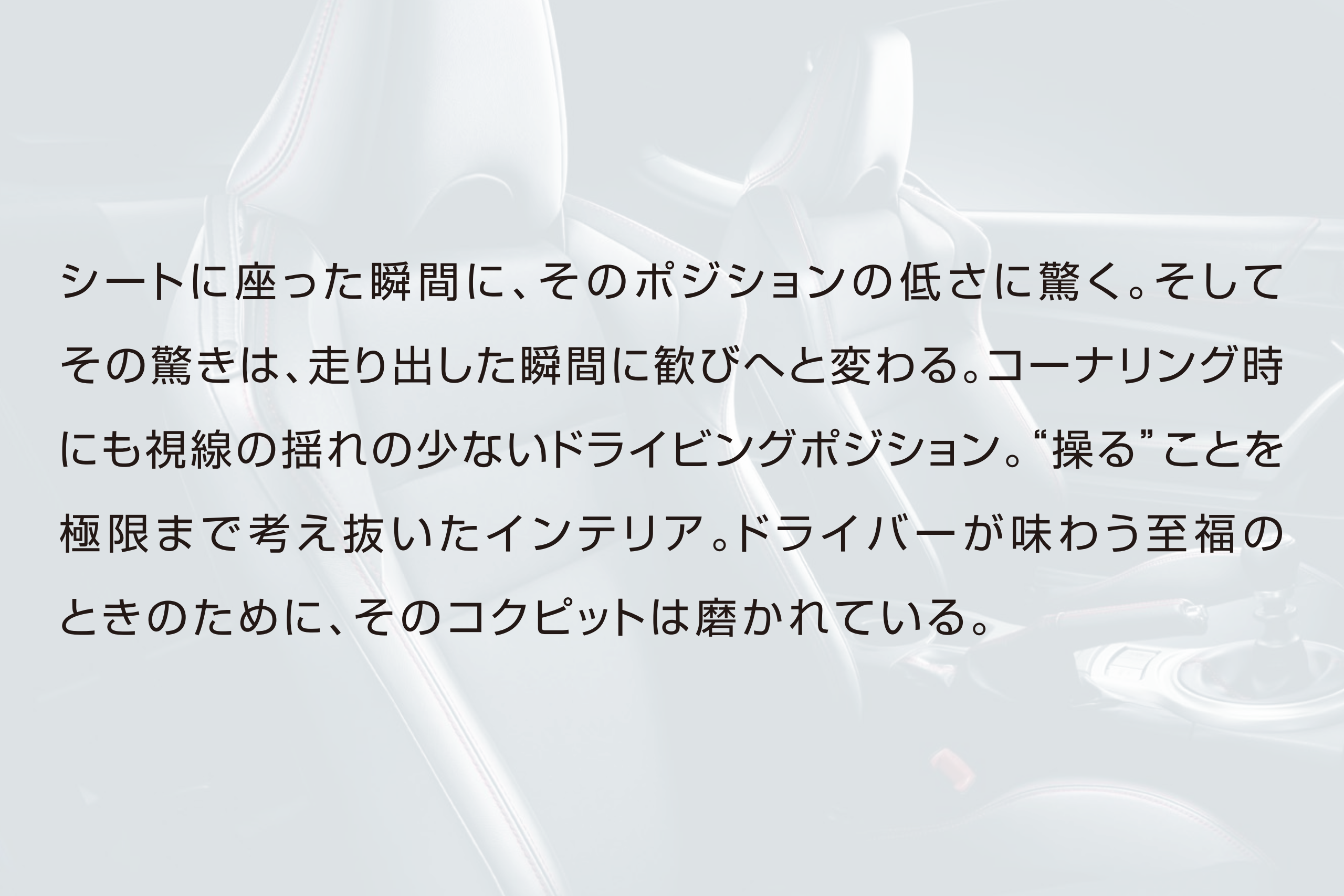
軽量化・高剛性・衝突安全性能を高度に融合する 「3ゾーンマネジメント」

フロント部は操舵初期の応答性を高めるための剛性設計を行い、リヤ部は剛性を高めることでフロント部からの入力を即座にリヤへと伝達。クルマに求められる性能や役割を、キャビン周り、フロント部、リヤ部それぞれのゾーンに合わせることで、数センチレベルの正確なライントレース性と、0.1秒でクルマ全身が反応する車体特性を追求した。

A close-up, low-angle shot of the front interior of a car. The focus is on the driver's seat and the passenger seat, both upholstered in black leather with prominent red stitching along the edges and seams. The seats are positioned in a way that suggests a driver-oriented layout. In the background, the center console and gear shift area are partially visible, also featuring the same black leather and red stitching. The lighting is dramatic, with strong highlights on the leather surfaces and deep shadows in the surrounding areas, creating a sense of luxury and performance.

Driver Oriented

マン-マシンの、究極の関係。



シートに座った瞬間に、そのポジションの低さに驚く。そしてその驚きは、走り出した瞬間に歓びへと変わる。コーナリング時にも視線の揺れの少ないドライビングポジション。“操る”ことを極限まで考え抜いたインテリア。ドライバーが味わう至福のときのために、そのコクピットは磨かれている。

気持ちよく正確な走りを提供する ドライビングポジション

乗員もクルマを構成する「質量」のひとつと捉え、出来る限り低い着座位置を設定。ドライバーのヒップポイントを地上から400mmとすることで、車両全体の低重心化に貢献する。また、着座位置を低くしたことにより、コーナリング時の横Gにともなうロールに対しても、視線の揺れや身体の揺れが少なく、気持ちよく正確な運転操作を可能とした。

next page ▶

操る歓びを高めるインターフェース

スポーツカーらしい機敏な操舵感のために、ステアリングホイールには小径タイプを採用。シフトは他の操作系からの持ち替えのしやすさまで考え、レバーの位置や角度、向きを設定している。シートは低い着座位置に合わせて専用開発。乗員の身体を面で支え、コーナリングや加減速時にもしっかりとホールドする。さらにセンターパネルは走行中の操作のしやすさを考え、ダイヤル式とピアノタッチ式とのコンビネーションを採用。SUBARU BRZには、クルマを操る歓びが細部にまで息づいている。



LINE UP / BODY COLOR



S

2.0ℓ BOXER DOHC

RWD [6MT]

メーカー希望小売価格(消費税込)

2,793,000円 消費税抜き価格 2,660,000円

RWD [E-6AT]

メーカー希望小売価格(消費税込)

2,871,750円 消費税抜き価格 2,735,000円



S

SEAT CLOTH:ファブリック／トリコット



S

SEAT CLOTH:ファブリック／トリコット



R

2.0ℓ BOXER DOHC

RWD [6MT]

メーカー希望小売価格(消費税込)

2,478,000円 消費税抜き価格 2,360,000円

RWD [E-6AT]

メーカー希望小売価格(消費税込)

2,546,250円 消費税抜き価格 2,425,000円



R

SEAT CLOTH:トリコット／トリコット



R

SEAT CLOTH:トリコット／トリコット



RA

2.0ℓ BOXER DOHC

RWD [6MT]

メーカー希望小売価格(消費税込)

2,058,000円 消費税抜き価格 1,960,000円



RA

SEAT CLOTH:トリコット／トリコット



RA

SEAT CLOTH:トリコット／トリコット



BODY COLOR



サテンホワイト・パール
(31,500円高・消費税込)

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。



スターリングシルバー・メタリック
(RAへの設定はありません)

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。



ダークグレー・メタリック
(RAへの設定はありません)

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。



クリスタルブラック・シリカ

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。



ライトニングレッド
(RAへの設定はありません)

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。



ギャラクシィブルー・シリカ
(RAへの設定はありません)

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。



WRブルー・マイカ

●写真はイメージで、ディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。

●記載価格はメーカー希望小売価格に消費税が含まれた総額表示です。

●メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各販売店が独自に決めていますので、それぞれにお問い合わせください。

●価格はスペアタイヤと交換用工具付の価格です。

●価格にはオプションは含まれておりません。

●リサイクル料金、税金（消費税を除く）、保険料、登録等に伴う諸費用等は別途必要となります。

●登録等に伴う手続き代行費用については別途消費税が必要となります。

△この仕様はお断りなく変更する場合があります。

●写真はすべてイメージです。●写真はディスプレイ装置の性質上、実際の色とは異なって見えることがあります。

BRZ、BOXER、AVCSは富士重工業株式会社の登録商標です。

TOYOTA D-4Sはトヨタ自動車株式会社の登録商標です。

富士重工業株式会社

Copyright(c)FUJI HEAVY INDUSTRIES Ltd. All Rights Reserved.